

2009年11月24日

ランクセス、2009年第3四半期の収益が予測を上回る

ランクセス株式会社

- 第3四半期の売上高は、前期比11%増の13億7,000万ユーロ
 - 特別項目調整前 EBITDA^{*1}は、前期比28%増の1億4,300万ユーロ
 - 純利益は、2,300万ユーロ
 - 中国経済が回復の原動力
 - 経費削減プロジェクト「チャレンジ 09-12」を、予定より前倒して実施
 - 2009年度の特別項目調整前 EBITDAは、4億ユーロから4億2,000万ユーロの見通し
- ^{*1} EBITDAは、税引前利益に、減価償却費、および支払利息を加算した金額です。

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、2009年第3四半期の業績を発表しました。ランクセスは、第2四半期の時点で第3四半期の特別項目調整前 EBITDAは、第2四半期とほぼ同レベルの1億1,200万ユーロと予測していましたが、第3四半期の特別項目調整前 EBITDAは1億4,300万ユーロと堅調でした。

特別項目調整前 EBITDAは前年同期比26%減となりましたが、中国経済の牽引により世界のマクロ経済環境が上向きに転じたことと、ランクセスの経費削減プロジェクト「チャレンジ 09-12」の効果により、前期比では28%増となりました。ランクセスのもう一つの主要指標である特別項目調整前 EBITDA マージン^{*2}は10.4%と前期より増加し、ほぼ前年同期レベルとなりました。

売上高は、前年同期比24%減の13億7,000万ユーロでしたが、前期比では11%増となりました。第4四半期に値上げが予定されているパフォーマンスポリマーズ部門の顧客の多くが、値上げの実施される第4四半期を前に在庫補充のため活発な購買をおこないました。純利益は2,300万ユーロで前期に続き堅調でした。

2009年9月末までの営業活動によるキャッシュフローは、4億3,200万ユーロ(前年同期:3億900万ユーロ)に増加しました。9月末の純負債は6月末より8%微増し、7億7,900万ユーロとなりました。これは、インドのグワリオール社と中国の江蘇波力奥化工社の化学事業および資産の買収によるものです。2008年末の純負債は8億6,400万ユーロでした。

ランクセスの CEO であるアクセル・ハイトマンは次のように述べています。「ランクセスが経済危機の影響に的確に対処したことが、今期の業績により再び実証されました。経済状況、特に中

国経済の好転に加え、ランクセスが独自で講じた対策が、第3四半期の堅調な業績につながりました。」

地域別の業績

第3四半期のアジア太平洋地域の売上高は、前期比11%増の3億3,800万ユーロ、前年同期比7%増となりました。ランクセスの総売上高の25%を占めるアジア太平洋地域は、急成長する中国市場が牽引しました。中国は、2009年度には世界最大の自動車生産国に成長すると予測されています。ランクセスは、車社会が進む中国における自動車およびタイヤ業界の信頼あるサプライヤーとして、中国でのビジネス・チャンスを最大限に活用していきます。

EMEA(ドイツを除いた欧州、中東、アフリカ)、ドイツ、北米および中南米の各地域の第3四半期の売上高は前期に引き続き増加しましたが、前年同期比では2桁の減少となりました。

事業分野別の業績

パフォーマンスポリマーズ部門:ランクセスの世界有数の合成ゴム事業が属する同部門の売上高は、前期比17%増の6億5,600万ユーロとなりました。冬用タイヤの需要の増加と値上げをひかえ購買が活発化したことにより9月の総売上高が予測以上に好調であったことが、この特筆すべき売上増をもたらしました。ブチルラバービジネスユニットの業績が大変好調だったことから、特別項目調整前EBITDAは、前期比46%増の7,600万ユーロと大幅に増加しました。経費削減プロジェクト「チャレンジ09-12」も同部門の営業利益増に効果を発揮しました。前年比ベースでは、売上高は30%減、特別項目調整前EBITDAは40%減となりました。

アドバンスト中間体部門:売上高は、前期から横ばいの2億8,400万ユーロ、特別項目調整前EBITDAは、前期比5%増の4,000万ユーロとなりました。これは、「チャレンジ09-12」対策の効果と農薬分野が周期的変動がなく比較的安定していることによるものです。前年同期比では、売上高は17%減、特別項目調整前EBITDAは横ばいでした。基礎化学品ビジネス部門においては、2009年9月1日付けでグワリオール社と江蘇波力奥化工社の化学事業および資産が連結財務諸表に組みこまれました。

パフォーマンスケミカルズ部門:売上高は、前期比10%増の4億2,500万ユーロ、特別項目調整前EBITDAは、前期比52%増の6,700万ユーロとなりました。販売量の増加と「チャレンジ09-12」対策により、無機顔料ビジネスユニット、皮革用化学品ビジネスユニット、およびラインケミの販売量の増加と「チャレンジ09-12」対策が、この部門の好調な利益増の主な要因となりました。前年比ベースでは、売上高は18%減となりましたが、特別項目調整前EBITDAは3%増となりました。

「チャレンジ09-12」

ランクセスは経済危機の影響を緩和するために、今年の初めから経費削減対策プロジェクト「チャレンジ09-12」を実行しています。「チャレンジ09-12」は、柔軟な資産管理と世界各国の管理職および非管理職すべての従業員を対象とした給与削減を柱に、経費削減を実行するプロジェクト

です。このプロジェクトを通して、ランクセスは 2012 年までに全世界で総額約 3 億 6,000 万ユーロの経費削減を目指します。

現在、このプロジェクトは予定より前倒して遂行されており、当初 2010 年を予定していた 3,000 万ユーロの追加削減を 2009 年中に行います。

またこのプロジェクトと並行して、ランクセスは、世界的な危機、経済環境の変化、競争の激化するビジネス環境に対処するため、以下のグローバル製造ネットワークの最適化を図ります。

- 機能性化学品ビジネスユニットは、今後数ヶ月の間に、着色剤の製造をメキシコのレルマからドイツのレバクーゼンにある既存の工場に移転します。
- プチルラバービジネスユニットは、アジア地域で高まる需要に対応するため、本拠地を 2010 年内にスイスのフリーボークからシンガポールへ移転します。
- 今月、無錫製造拠点(江蘇省)において皮革化学品向けの新製造ラインを稼動し、中国内の製造体制の強化を図ります。また金山製造拠点(上海)の顔料製造能力を増大し、さらに最適化を図ります。

今後の見通し

各地域の経済回復ペースがばらついていることもあり、最近の景気回復傾向にも関わらず、世界的な経済環境は依然として困難な状況です。

ランクセスは、今後数カ月間はアジア地域が世界経済の成長の原動力になると予測しています。北米と欧州市場は徐々に回復していますが、まだ中国などの経済回復には後れをとっています。

通常、ランクセスの顧客が属する産業では、第 4 四半期は季節的な要因から需要の減少が見られますが、今年も例外ではないとランクセスは予測しています。さらに、値上げ前の購入の活発化が、第 4 四半期の売上に影響を及ぼす可能性があります。

ハイトマンは、「これらの要素を考慮し、ランクセスは、2009 年通年の特別項目調整前 EBITDA を、4 億ユーロから 4 億 2,000 万ユーロと予測しています。この意欲的な目標は、経営を取り巻く厳しい環境下において、いかにランクセスが効果的な対策を行っているかを明確に示しています。ランクセスはこの経済危機を乗り越え、さらなる経営基盤の強化につなげていきます」と述べています。

2009年第3四半期 主要データ

(単位:百万ユーロ、変動率:%)

| | 2009年 第3四半期 | 2009年 第2四半期 | 変動率(%) 第2四半期比 | 2008年 第3四半期 | 変動率(%) 2008年 第3四半期比 |
|------------------------------|----------------|----------------|------------------|----------------|---------------------------|
| 売上高 | 1,373 | 1,238 | +10.9 | 1,814 | -24.3 |
| 特別項目調整前 EBITDA | 143 | 112 | +27.6 | 192 | -25.5 |
| 特別項目調整前 EBITDAマージン (%) | 10.4 | 9.0 | | 10.6 | |
| 純利益 | 23 | 17 | +35.3 | 56 | -58.9 |

*2 EBITDAマージンは、売上高に対するEBITDAの比率です。

#

このリリースは、ドイツ・レバークゼンで11月12日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約14,600人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

共同PR株式会社 第一業務局 時松、田中

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316

lanxesspr@kyodo-pr.co.jp

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なってくる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00198J)